

渡邊昌彦理事長より編集委員を仰せつかりました順天堂大学産婦人科の寺尾泰久です。このたび本誌編集委員に加えていただき、誠に光栄でありまた責任を感じております。

私と内視鏡のつながりは、順天堂大学産婦人科の恩師、故武内裕之先生から「腹腔鏡で子宮体癌の手術をしたいから、お前手伝え」と言われ、とりあえず日本内視鏡外科学会と日本産科婦人科内視鏡学会に入会したことから始まります。今でこそ腹腔鏡下子宮体癌手術は保険収載されましたが、その当時は婦人科癌に対して腹腔鏡で手術をするなんてありえないことでした。自施設で第1例目を行ったのは構想から4年、武内先生が亡くなられてから2年近く経ってからでした。それまでに議論を重ねたのが懐かしく思い出されます。私が本誌編集委員として働かせていただけるのも、この世界に導いてくださった武内裕之先生のおかげであり感謝申し上げます。

内視鏡手術は実に面白いです。なぜならば開腹手術と違って制限がありますから、手術のたびごとに創意工夫し、少しでもスムーズに済むような工夫を心がけます。もちろん開腹手術でも同じですが、制限があればあるほど苦難を乗り越えたときの喜びもひとしおです。この日本内視鏡外科学会雑誌には創意工夫が詰まっており、自分自身も産婦人科であり専門外の手術は行いませんが、皆様が考えた創意工夫を読んでいるとワクワクします。また、編集会議では各領域のリーダーが集まり討論していますので、本誌は各診療科を超えた横断的なものになっており、良いものが出来上がっていると思っています。

外科治療の低侵襲化は今後もさらに進むでしょうし、社会のニーズもそうであると思います。手術は安全で確実であることが最も重要であり、そのためには医師のみならず看護師や臨床工学士などメディカルスタッフとのコミュニケーションが必要と考えます。日本内視鏡外科学会にはメディカルスタッフ会員があり、各診療科のみならず各職種とも横断的な議論ができるのがJSESだと思います。

今後とも会員の皆様の積極的な論文投稿を何卒宜しくお願い申し上げます。

(寺尾泰久)

日本内視鏡外科学会雑誌

(第22巻 第2号) 2017年3月15日発行・隔月刊

Journal of Japan Society for Endoscopic Surgery (Tokyo)

(1部) 定価：本体2,800円＋税 ＊会員には毎号送付されます。

2017年 年間購読料：冊子版16,380円＋税、電子版(個人)16,380円＋税、冊子＋電子版(個人)19,380円＋税(配送料：医学書院負担) ＊会員には冊子版が毎号送付され、学会ホームページから電子版が閲覧できます。

編集・発行：日本内視鏡外科学会(代表：渡邊昌彦)

〒100-0013 東京都千代田区霞が関1-4-2 大同生命霞が関ビル

日本コンベンションサービス株式会社内

☎03-3503-5917 Fax 03-3508-1257 E-mail: info-jses@convention.co.jp (担当：池田，小倉)

<http://www.jses.or.jp>

Published by Japan Society for Endoscopic Surgery, 1-4-2 Kasumigaseki, Chiyodaku

Tokyo, 100-0013, Japan ©2017, Printed in Japan

発 売：(株)医学書院(代表：金原 優)(本誌担当：水野，安部) <http://www.igaku-shoin.co.jp/>

<http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/jses/>

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23(振替口座00170-9-96693番)

本誌編集室直通 ☎03-3817-5707 (Fax 03-3815-7802/E-mail: jses@igaku-shoin.co.jp)

販売部直通 ☎03-3817-5659 (Fax 03-3815-7804)

印刷所 横山印刷(株) ☎03-3622-6161 (Fax 03-3625-1591)

広告申込所 (株)文京メディカル ☎03-3817-8036 (Fax 03-3817-8044)

・本誌に掲載する著作物の複製権、上映権、公衆送信権、翻訳・翻案権、二次的著作物利用権、譲渡権等は日本内視鏡外科学会が保有します。

・JCOPY (株)出版者著作権管理機構 委託出版物) 本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、(株)出版者著作権管理機構(電話03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

●原著

腹腔鏡補助下結腸切除術における再建法別の治療成績および医療経済
の検討柿添 学・他 横浜市立みなと赤十字病院外科
腹腔鏡下脾切除の現状と内視鏡外科技術認定医の役割
—第 7 回脾臓内視鏡外科研究会学術集会アンケート調査から増井俊彦・他 京都大学病院肝胆脾・移植外科

●症例報告

デルタ吻合による Billroth I 法再建後の吻合部浮腫性狭窄に対しステロイド
全身療法が有効であった 1 例藤幡士郎・他 刈谷豊田総合病院外科
小網裂孔に胃体部が嵌入して発症した胃長軸捻転症に対し腹腔鏡下整復
胃固定術を施行した 1 例嶋 健太郎・他 みやぎ県南中核病院外科
右側肝門索を伴う急性胆嚢炎に対し単孔式腹腔鏡下胆嚢摘出
術を施行した 2 例小野田貴信・他 浜松医科大学医学部附属病院第一外科
特発性食道破裂に対して腹腔鏡下食道穿孔部修復・縦隔ドレナージ術を施行
した 1 例井出隆太・他 県立広島病院消化器外科
Whitehead 手術による肛門狭窄を伴った直腸癌に対して腹腔鏡下低位前方
切除術を肛門操作無しで行った 1 例多田陽一郎・他 鳥取赤十字病院外科
精神疾患を有する大腸癌患者 17 名に対する腹腔鏡手術の短期成績に関する
検討瘧 賢・他 ベルランド総合病院外科
胸骨後経路再建術後の胃管癌に対する胃管全摘術
—腹腔鏡下縦隔アプローチの有用性花田圭太・他 国立病院機構京都医療センター外科
ポリグリコール酸フェルトを用いて腹腔鏡補助下脾固定術を施行し
た遊走脾捻転の 1 例柴崎正幸・他 東京山手メディカルセンター外科
EUS-FNAB にて術前診断した食道 GIST に対し胸腔鏡下
核出術を施行した 1 例佐治 攻・他 聖マリアンナ医科大学消化器・一般外科
3D 血管再構築画像が診断に有用であった胃切除・Roux-en-Y 再建
術後内ヘルニアの 1 例藤田 剛・他 栃木県立がんセンター消化器外科
鼠径ヘルニア術後の慢性疼痛に対して腹腔鏡下メッシュ除去が著効した 1 例太田拓児・他 小樽市立病院外科
腹腔鏡補助下に切除した空腸起始部原発性小腸癌の 1 例奥村晋也・他 京都大学医学研究科肝胆脾・移植外科
双孔式回腸ストーマ脱出と傍ストーマ
ヘルニアに対する腹腔鏡下修復術を
行った 1 例楠元英次・他 国立病院機構九州医療センター消化器外科・臨床研究センター

●手術手技

食道癌手術における腹腔鏡補助下腸瘻造設術西田卓弘・他 宮崎大学医学部外科学講座消化管・内分泌・小児外科

●私の工夫

腹腔鏡下直腸切断術における腹膜外経路人工肛門造設術の工夫
—15 mm トロッカーを使用して岩川和秀・他 国立病院機構福山医療センター外科

但し誌面の都合により変更がございます。ご諒承ください。